各位

株式会社システナ

(東京証券取引所プライム市場 証券コード:2317)

システナとスーパーマイクロ株式会社、日本AMD株式会社が 「第8回 [名古屋]オートモーティブ ワールド -クルマの先端技術展-」に共同出展

株式会社システナ(本社:東京都港区、代表取締役会長:逸見愛親)は、2025年10月29日(水)~31日(金)の3日間、ポートメッセなごやにおいて開催される、「第8回[名古屋]オートモーティブ ワールド -クルマの先端技術展-」にスーパーマイクロ株式会社(以下「スーパーマイクロ」)、日本AMD株式会社(以下「AMD」)と共同出展いたします。

オートモーティブ ワールド 開催概要

【会場】 ポートメッセなごや 第1展示館

【会期】2025年10月29日(水)~31日(金) 10:00~17:00【小間番号】システナ:N10-6 ※第1展示館 SDV EXPOエリア

【展示会HP】 https://www.automotiveworld.jp/nagova/ja-jp.html



◆共同出展の背景

近年、車載開発においてSDV^{*1}への移行が進み、ソフトウェアの重要性が飛躍的に高まっています。このトレンドに対応し、開発の幅を広げ、より高度なソリューションを提供するため、システナ、スーパーマイクロ、AMDの3社は共同で展示会に出展いたします。

今回の展示会では、システナからはAIを活用した車載開発効率化のサービスを、スーパーマイクロ及びAMDからはOSを最大限に活用するための高性能コンピューティングのサーバーを展示いたします。それぞれの分野における最新技術を持ち寄ることで、ソフトウェアとハードウェアが高度に連携した次世代の車載システム開発を強力に推進し、お客様へ革新的で幅広い開発の選択肢をご提案いたします。

◆共同出展社の出展概要

◇AMD製品を搭載したスーパーマイクロのAI特化サーバー

スーパーマイクロが開発したAI特化サーバーである「GPU A+ Server AS -8125GS-TNHR」の実機を展示いたします。本製品は現在日本国内で一機しか存在せず、直接ご覧いただける貴重な機会となります。また、本サーバーのCPUとGPUの開発を手掛けたAMDも共同で出展し、「AMD EPYC™ 9004シリーズ プロセッサー」と「AMD Instinct™ MI300X GPU」をご紹介いたします。その他、スーパーマイクロが開発した製品をご覧いただける機会となります。

◆株式会社システナについて

社名:株式会社システナ

所在地 :〒105-0022 東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング14F

代表者 :代表取締役会長 逸見 愛親

資本金 :15億1,375万円(2025年7月1日現在)

設立 :1983年3月

上場金融商品取引所:東京証券取引所プライム市場(証券コード:2317)URL:https://www.systena.co.jp (企業HPトップ)

> ム、IoT関連システムやロボット・AI、モバイル機器等のソフトウェアの開発・ 品質検証、金融機関向けシステム開発、システム運用・ヘルプデスク、IT商 品の販売及びシステムインテグレーション、クラウドサービスの提供など、シ

ステムの企画・設計開発

お問い合わせ先:株式会社システナ

https://www.systena.co.jp/contact/solution/

◆スーパーマイクロ株式会社について

社名 :スーパーマイクロ株式会社

URL: https://www.supermicro.com/ja/(企業HPトップ)

事業内容:サーバー及びストレージシステムの設計・製造・販売、

AI/GPUサーバーソリューションの開発、サーバー構成部品の開発 アプリケーションに最適化されたトータルITソリューションの提供

お問い合わせ先 :スーパーマイクロ株式会社

https://www.supermicro.com/ja/about/contact

◆日本AMD株式会社について

社名:日本AMD株式会社

URL :https://www.amd.com/ja.html (企業HPトップ)

事業内容 :AMDはハイパフォーマンスならびにアダプティブ コンピューティングをリード。

日々、数十億人のユーザーを支え、クラウド、医療、車載、自動運転やAIなどの

分野で新たな可能性を切り開きます。

お問い合わせ先:日本AMD株式会社

https://www.amd.com/ja/corporate/contacts.html

このお知らせに記載されている会社名及び製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

^{※&}lt;sup>1</sup> SDV(Software Defined Vehicle):車両と外部との通信機能を活用し、車両のソフトウェアを更新することができる 自動車のことです。車両販売後の機能追加や性能向上が可能となります。